

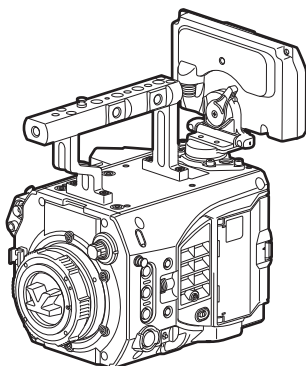
# Panasonic®

## 取扱説明書

メモリーカードカメラレコーダー

品番 **AU-V35LT1G**

  
**VARICAM**



詳細は、当社Webサイト (<http://panasonic.biz/sav/manual/index.html>) に掲載されているVARICAM LTの取扱いガイドを参照してください。

*express*

**P2**

**P2HD**

**S2<sup>™</sup>**  
**XC**

**AVC ULTRA**

**AVC INTRA**

**AVC Long G**

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(4～7ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書付き

- 
- SDXC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。
  - その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。
  - 本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。
    - AVC 規格に準拠する動画（以下、AVC ビデオ）を記録する場合
    - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録された AVC ビデオを再生する場合
    - ライセンスを受けた提供者から入手された AVC ビデオを再生する場合詳細については米国法人 MPEG LA, LLC (<http://www.mpegla.com/>) をご参照ください。
  - Use of DCF Technologies under license from Multi-Format, Inc.
  - Apple ProRes コーデック・モジュールは ATOMOS 社から許諾を受けています。
  - ATOMOS は、Atomos Global Pty. Ltd の商標または登録商標です。

---

## 本書の見かた

### ■ 本書内のイラストについて

- イラストは、実際とは異なることがあります。

### ■ 表記について

- [ ] の語句はビューファインダーやコントロールパネルに表示される内容を示しています。
- 〈 〉の語句はボタン名など本機の意匠文字を示しています。

### ■ 参照ページについて

- 本書では、参照ページを（00 ページ）のように示しています。

### ■ 用語について

- SD メモリーカード、SDHC メモリーカード、SDXC メモリーカードは、「SD メモリーカード」と記載しています。
- 「P2」ロゴがついたメモリーカード AJ-P2E060FG（別売品）などを「P2 メモリーカード」と記載しています。
- 「expressP2」ロゴがついたメモリーカード AU-XP0256AG（別売品）などを「expressP2 メモリーカード」と記載しています。
- P2 メモリーカード、expressP2 メモリーカードは特に区別しない限り、「P2 カード」とのみ記載しています。

## もくじ

付属品 .....	3
安全上のご注意 .....	4
各部の名称 .....	9
左面部 .....	9
右面部 .....	11
前面部 .....	12
後面部 .....	13
上面部 .....	14
下面部 .....	15
モジュールの取り付け .....	16
コントロールパネルの取り付け .....	16
電源の供給 .....	17
外部 DC 電源の使用 .....	17
本機搭載ファームウェアのアップデート .....	19
ファームウェアのバージョンアップ方法 .....	19
保管について .....	20
保管上のお願ひ .....	20
保証とアフターサービス（よくお読みください） .....	21
修理を依頼されるとき .....	21
定格 .....	22
総合 .....	22

## 付属品

- マウントキャップ（カメラ本体にあらかじめ取り付けられています）
- コントロールパネル
- コントロールパネル取り付け金具
- IR 撮影用ガラス
- コントロールパネル取り付け金具固定ねじ（4 個）

### NOTE

- 包装材料は商品を取り出した後、適切に処理してください。

## 安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



### 危険

「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。



### 警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



### 注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

## 危険

### バッテリーは…



- バッテリーの端子部（+・-）に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない
- バッテリーは、分解、加工（はんだ付けなど）、加圧、加熱、火中投入などをしてしない
- バッテリーは、電子レンジやオープンなどで加熱しない
- バッテリーは、炎天下（特に真夏の車内）など、高温になるところに放置しない  
(液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。)  
⇒ 使用しない時は、ビニール袋などに入れ、金属物と接触させないようにしてください。  
⇒ 本機と接続検済済みのものを推奨します。  
バッテリーに付属の説明書をよくお読みのうえ、正しく使用してください。  
(接続検済済みバッテリーについては、取扱いガイドを参照してください。)  
⇒ バッテリーは本機に付属していませんが、安全にご使用いただくために、お守りください。



- 充電するときは、必ずバッテリーメーカー指定の充電器を使用する  
(指定以外の充電器で充電すると、発熱・発火・破裂を起こし、けがの原因になります。)  
⇒ 充電器は本機に付属していませんが、安全にご使用いただくために、お守りください。


**警告**
**異常、故障時には直ちに使用を中止する**


- 異常があった時は、直ちにバッテリーを外す  
 [内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき、落下などで外装ケースが破損したとき、煙や異臭、異音などが出たとき]  
 (そのまま使用すると、火災の原因になります。)  
 ⇒ 外部 DC 電源で使っている場合は、DC コードを外してください。  
 ⇒ お買い上げの販売店にご相談ください。


**分解禁止**

- 外部ユニット接続端子以外のカバーは外さない  
 (火災の原因になります。)  
 ⇒ 点検・整備・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。
- 分解や改造をしない  
 (火災の原因になります。また、使用機器を損傷することがあります。)  
 ⇒ 内部の点検や修理などは、お買い上げの販売店にご相談ください。




- DC コードのプラグは、根元まで確実に差し込む  
 (差し込みが不完全ですと、発熱による火災の原因になります。)  
 ⇒ 傷んだプラグは使用しないでください。  
 (DC コードは本機に付属していませんが、安全にご使用いただくために、お守りください。)

- 本機がぬれたり、水などの液体や異物が入らないようにする  
 (火災の原因になります。)  
 ⇒ 雨天・降雪・海岸・水辺での使用は、特にご注意ください。  
 ⇒ 機器の上や近くに、水などの液体が入った花瓶などの容器を置かないでください。


- 付属品・オプションは、指定の製品を使用する  
 (本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こす原因になります。)

- 外部 DC 電源を使用するときは、電源電圧、および DC IN 端子のピン配列を確認し、極性を正しく接続する  
 (誤って GND 端子に +12 V の電源を接続すると火災や故障の原因になります。)  
 ⇒ 詳しくは取扱ガイドを参照してください。  
 (DC 電源は本機に付属していませんが、安全にご使用いただくために、お守りください。)



- 外部 DC 電源は、定格電圧、電流を確認し、適切なものを使用する  
 (不適切な外部 DC 電源を使用すると火災の原因になります。)  
 ⇒ 詳しくは取扱ガイドを参照してください。  
 ⇒ 外部 DC 電源に付属の説明書をよくお読みのうえ、正しく使用してください。  
 ⇒ 外部 DC 電源は、電気用品安全法のマーク  の付いたものをご使用ください。

- HD カラービューファインダー、ショルダーマウントモジュール、レンズなどの取り付け・締め付けは確実に  
 (落下すると事故の原因になります。)

## ⚠ 警告 (つづき)

	<p>■ DC コードが破損するようなことはしない                  [傷つける、加工する、高温部や熱機具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど]                  (傷んだまま使用すると、火災・ショートの原因になります。)                  ⇒ DC コードの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。                  (DC コードは本機に付属していませんが、安全にご使用いただくために、お守りください。)</p>
	<p>■ 乗り物を運転しながら使わない                  (事故の誘発につながります。)                  ⇒ 歩行中でも周囲の状況、路面の状態などに十分ご注意ください。</p>
	<p>■ コントロールパネル取り付け金具固定ねじ (付属品)、レンズマウントの取り付けねじ (交換時)、メモリーカード (別売品) は、乳幼児の手の届く所に置かない                  (誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。)                  ⇒ 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。</p>
	<p>■ ハンドルのアクセサリ取り付け穴を使い本機を吊り下げない                  (ハンドルが破損し、本機が落下してけがの原因になります。)</p>
	<p>■ 電源を入れたまま長時間直接接触して使用しない                  (本機の温度の高い部分に、長時間直接接触していると低温やけど*の原因になります。)                  ⇒ 長時間ご使用の場合は、三脚などをお使いください。                  * 血流状態が悪い人 (血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている) や、皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。</p>


**注意**

	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ファンの吸気口や排気口をふさがない            [押し入れや本箱など狭いところに入れない、テーブルクロスを掛けたり] [じゅうたんや布団の上に置かない]            (内部に熱がこもり、火災の原因になります。)</li> <li>■ 三脚を取り付けた状態で、本機のハンドルを使って持ち上げない            (三脚を取り付けると、三脚の重量も本機のハンドルに加わるため、ハンドルが破損し、けがの原因になります。)            ⇒三脚を取り付けているときは、必ず、三脚を持って運搬してください。</li> <li>■ レンズやファインダーを太陽や強い光源に向けたままにしない            (レンズにより集光されると、内部部品が加熱・損傷し、火災、故障の原因となります。)</li> <li>■ イヤホン使用時は音量を上げすぎない            (イヤホンから大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。)</li> <li>■ 油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない            (電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災の原因になることがあります。)</li> <li>■ 直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所に置かない            (特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温(約60℃以上)になります。本機やバッテリーなどを絶対に放置しないでください。外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になります。)</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 長期間使用しないときや、お手入れのときは、バッテリーやDCコードを外す            (火災の原因になります。)</li> <li>■ 移動するとき、接続したコードに力が加わらないよう注意する            (コードが傷つき、火災の原因になります。また、コードが引っかかって、けがの原因になります。)</li> <li>■ 病院内や機内では、病院や航空会社の指示に従う            (本機が出す電磁波などが、計器類に影響を及ぼす恐れがあります。)</li> <li>■ コードを引き回す場合、足など引っ掛けないよう固定したりカバーなどを            する            (足などを引っ掛けると、けがの原因になります。また、コードが傷つき、火災の原因にもなります。)</li> </ul>

---

■ ご使用前には、必ず内蔵電池が消耗していないか確認し、日付 / 時刻を設定してください。

内蔵電池が消耗していると、本機の内蔵時計がリセットされます。そのため、クリップのメタデータが正しく記録されず、サムネール画面で正しく表示されないことがあります。

ご使用前には、内蔵電池が消耗していないか確認してください。

また、日付 / 時刻を正しく設定してください。

■ ご不要になった充電式電池はリサイクルへ

ご不要になった充電式電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで、リサイクルにご協力ください。

不要になったバッテリーの廃棄は、バッテリーメーカーの指示に従ってください。



Ni-MH  
Ni-Cd  
Li-ion

■ 本製品に関するソフトウェア情報

- 1 本製品には、GNU General Public License (GPL)、ならびに GNU Lesser General Public License (LGPL) に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれており、お客様は、これらのソフトウェアのソースコードの入手・改変・再配布の権利があることをお知らせいたします。
- 2 本製品には、MIT-License に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。
- 3 This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>).
- 4 本製品には、OpenBSD License に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。
- 5 This product includes PHP, freely available from <http://www.php.net/>.
- 6 This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
- 7 本製品には、MOZILLA PUBLIC LICENSE に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれていません。

これらの内容（原文【英文】で記載しております）と、ソースコードの入手については、次の Web サイトを参照してください。

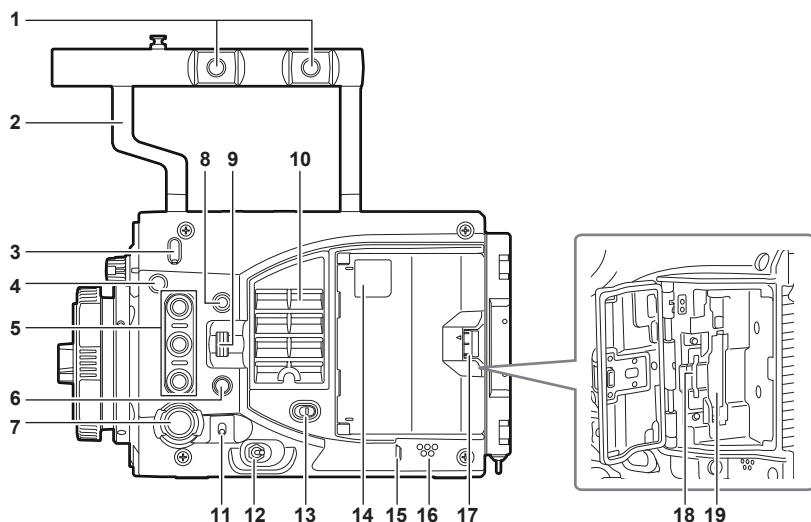
<http://panasonic.biz/sav/>

なお、お客様が入手されたソースコードの内容などについてのお問い合わせは、ご遠慮ください。



## 各部の名称

## 左面部



- 1 アクセサリー取り付け穴  
アクセサリーを取り付けます。  
●取り付け穴サイズ  
- 3/8-16 UNC
- 2 ハンドル
- 3 フランジバック調整穴  
フランジバックを調整するときに使用します。
- 4 メジャーフック / 焦点マーク (Φ)  
イメージセンサーの撮像面位置を示します。
- 5 USER ボタン (〈USER 1〉 / 〈PLAY〉、〈USER 2〉 / 〈INFO〉、〈USER 3〉 / 〈EXIT〉)  
ユーザーが選択した機能をそれぞれのボタンに割り当てることができます。ボタンを押すことで、割り当てられた機能が動作します。  
システムチェック画面やメニュー画面が表示されているときはオレンジ文字の 〈PLAY〉 / 〈INFO〉 / 〈EXIT〉 ボタンの動作をします。その場合、USER ボタンとしては動作しません。
- 6 〈SYSTEM CHK〉 ボタン  
〈VF SDI〉 端子出力にシステムチェック画面を表示します。
- 7 〈REC〉 ボタン  
ボタンを押すと記録が始まります。再度押すと記録が停止します。記録中、ボタンが赤く点灯します。
- 8 〈MENU〉 ボタン  
〈VF SDI〉 端子出力およびコントロールパネル画面に設定メニューを表示します。
- 9 〈IRIS/SEL〉 ダイアルボタン  
EF レンズのアイリスを制御します。  
カメラ本体の 〈MENU〉 ボタンでメニューを表示したときは、メニュー選択ダイアルとして機能します。

### 10 ファン吸気口

放熱用ファンの吸気口です。使用中はふさがないようにください。

### 11 〈TOGGLE/WB〉スイッチ

[WB] / [E1] / [SHUTTER] を割り当てることができます。

工場出荷時は [WB] が割り当てられています。

[WB] が割り当てられているときに、上に長押しするとオートホワイトバランスが動作します。

### 12 電源スイッチ

電源の入 (I) / スタンバイ (⏻) スイッチです。

電源スイッチが (⏻) の位置でも、本機は、完全に主電源からは切り離されていません。

### 13 〈LOCK〉スイッチ

カメラ本体左面部のボタンやスイッチの操作を無効にします。

[MENU] → [SYSTEM SETTINGS] → [SIDE LOCK] で、操作を無効にしたいボタンやスイッチを設定してください。

移動時など、誤操作防止のため (🔒) 側にしておいてください。

### 14 カードスロットアクセス LED

メインスロット、サブスロットの各カードスロットに挿入したカードの記録、再生のアクセス状況を表示します。

上：メインスロット

下：サブスロット

サブスロットでは、ファイル操作のときのアクセス状況も表示します。

### 15 〈PHONES〉端子

音声モニター用ヘッドホンの接続端子です。(ステレオミニジャック)

### 16 スピーカー

記録中は EE 音声を、再生中は再生音声をモニターできます。

ワーニング表示の点滅・点灯にあわせてアラームを出します。

〈PHONES〉端子にヘッドホンを接続すると、スピーカーからの音声は自動的に消えます。

### 17 カードスロットカバー開閉レバー

カードスロットカバーを開けます。

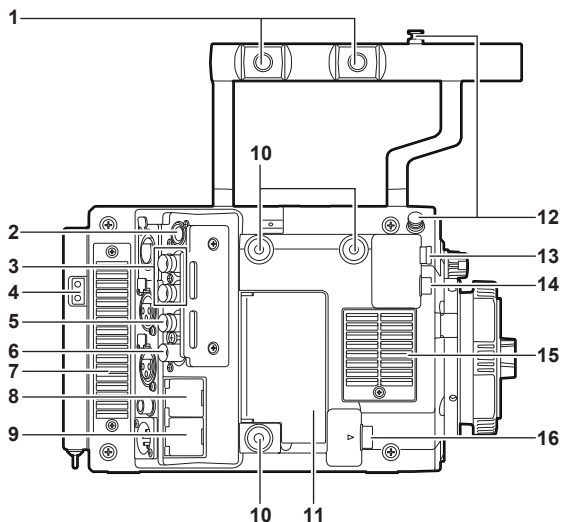
### 18 サブスロット

SD メモリーカード (別売品) のスロットです。

### 19 メインスロット

P2 カードのスロットです。

## 右面部

**1 アクセサリー取り付け穴**

アクセサリを取り付けます。

- 取り付け穴サイズ  
- 3/8-16 UNC

**2 〈CONTROL PANEL〉 端子**

コントロールパネルを接続する端子です。

**3 〈SDI OUT 1〉 / 〈SDI OUT 2〉 端子**

モニター用映像の 3G/HD SDI の出力端子です。

本端子に接続するケーブルは、5C-FB 相当の二重シールドのものをご使用ください。

**4 照明用電源出力端子**

ライトを接続したときの、電源供給端子です。

**5 〈GENLOCK IN〉 端子**

カメラ部にゲンロックをかけるとき、またはタイムコードを外部ロックするときに基準信号を入力します。入力信号は、3G/HD-SDI 信号です。

本端子に接続するケーブルは、5C-FB 相当の二重シールドのものをご使用ください。

**6 〈TC IN/OUT〉 端子**

外部機器のタイムコードを本機のタイムコードにロックさせるときに、外部機器のタイムコード入力端子と接続します。

また、タイムコードを外部機器とロックするときに、基準となるタイムコードを入力します。

本端子に接続するケーブルは、5C-FB 相当の二重シールドのものをご使用ください。

**7 ファン排気口**

放熱用ファンの排気口です。使用中はふさがないでください。

**8 〈LAN〉 端子**

LAN (100BASE-TX) ケーブルを接続します。

本端子に接続するケーブルは、シールド付きのクロスケーブルをご使用ください。

**9 〈USB DEVICE〉 端子**

USB デバイス端子です。USB 2.0 ケーブルを接続します。

本端子に接続するケーブルは、二重シールドのものをご使用ください。

## 各部の名称

### 10 アクセサリー取り付け穴

アクセサリーを取り付けます。

- 取り付け穴サイズ  
- 1/4-20 UNC (ねじ長さ 5.5 mm 以下)

### 11 〈USB HOST〉 端子 (カバー内、5.0 V 0.5 A max)

ワイヤレスモジュール AJ-WM30 (別売品) を装着します。

本端子に接続するケーブルは、二重シールドのものをご使用ください。

### 12 メジャーフック

イメージセンサーの撮像面位置を示します。被写体からの距離を正確に測る場合は、このマークを基準としてください。

### 13 〈VF SDI〉 端子

ビューファインダー接続用 3G/HD SDI の出力端子です。

本端子に接続するケーブルは、ビューファインダーに付属の BNC ケーブルまたは 5C-FB 相当の二重シールドのものをご使用ください。

### 14 〈DC OUT〉 端子

ビューファインダー電源供給用 DC 12 V の出力端子です。最大 1.0 A の電流を取り出すことができます。

本端子に接続するケーブルは、ビューファインダーに付属の DC コードをご使用ください。

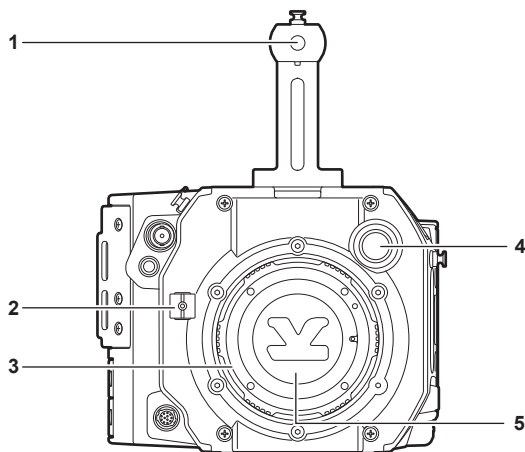
### 15 ファン吸気口

放熱用ファンの吸気口です。使用中はふさがらないでください。

### 16 〈LENS/GRIP〉 端子

レンズケーブルを接続する端子です。詳しくは、ご使用になるレンズの取扱説明書を参照してください。グリップモジュール AU-VGRP1G (別売品) 用のケーブルも接続できます。

## 前面部



### 1 アクセサリー取り付け穴

アクセサリーを取り付けます。

- 取り付け穴サイズ  
- 3/8-16 UNC (ねじ長さ 5.5 mm 以下)

### 2 レンズケーブルクランプ

レンズケーブルを固定するためのクランプです。

### 3 EF レンズマウント

EF レンズを取り付けます。

### 4 〈FILTER〉 つまみ

〈1〉 〈CLEAR〉：ND フィルターを使用しません。

〈2〉 〈0.6ND〉：イメージセンサーに入る光の量を 1/4 にします。

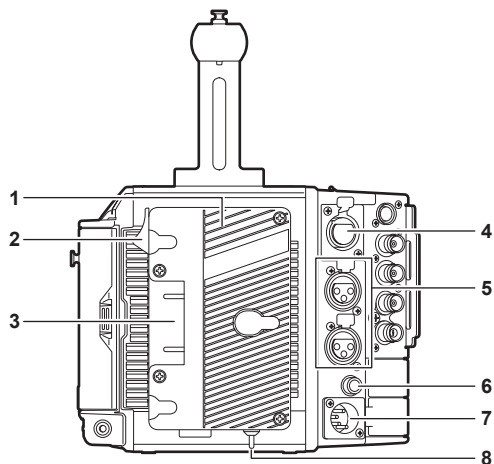
〈3〉 〈1.2ND〉：イメージセンサーに入る光の量を 1/16 にします。

〈4〉 〈1.8ND〉：イメージセンサーに入る光の量を 1/64 にします。

### 5 マウントキャップ

レンズを取り付けていないときは、キャップを取り付けます。

## 後面部



### 1 バッテリーホルダー

アントンパワアー製のバッテリーを取り付けます。

### 2 バッテリー取り外しレバー

バッテリー取り外しレバーを下まで倒してバッテリーを取り外します。

### 3 バッテリー接続端子

バッテリーと接続する端子です。

### 4 〈INPUT 1/2〉 端子

マイクを接続する端子です。

### 5 〈INPUT 3〉 / 〈INPUT 4〉 端子

オーディオ機器、またはマイクを接続します。

### 6 〈DC OUT/RS〉 端子

DC 12 V の出力および REC トリガー入力端子です。DC 出力は、最大 1.0 A の電流を取り出すことができます。

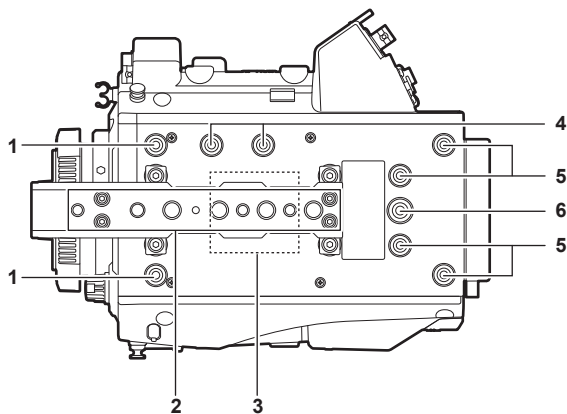
### 7 〈DC IN〉 端子

外部 DC 電源を接続する入力用端子です。

### 8 〈LIGHT CONTROL〉 スイッチ

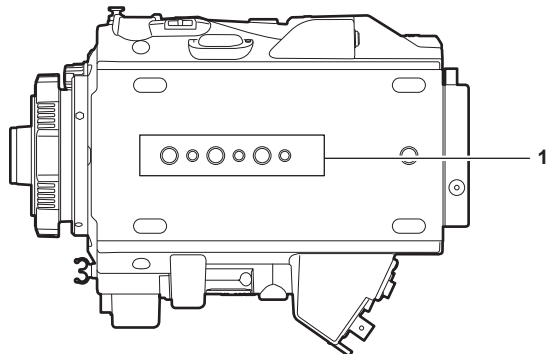
照明用出力端子にライトを接続したときのコントロールスイッチです。

上面部



- 1 **ビューファインダー取り付け穴**  
ビューファインダーを取り付けます。
- 2 **アクセサリ取り付け穴**  
アクセサリを取り付けます。
  - 取り付け穴サイズ
    - 1/4-20 UNC
    - 3/8-16 UNC
- 3 **GPS モジュール位置**  
この部分に、GPS モジュールを内蔵しています。GPS 使用中は金属などでふさがらないでください。
- 4 **マイクホルダー取り付け位置**
- 5 **コントロールパネル取り付け金具取り付け穴**
- 6 **アクセサリ取り付け穴**  
アクセサリを取り付けます。
  - 取り付け穴サイズ
    - 1/4-20 UNC (ねじ長さ 5.5 mm 以下)

## 下面部

**1 ショルダーマウントモジュール / 三脚取り付け穴**

ショルダーマウントモジュールや三脚を取り付けます。

**● 取り付け穴サイズ**


- 1/4-20 UNC (ねじ長さ 5.5 mm 以下)
- 3/8-16 UNC (ねじ長さ 5.5 mm 以下)

## モジュールの取り付け

### コントロールパネルの取り付け

コントロールパネルは、コントロールパネルケーブルをカメラ後部の〈CONTROL PANEL〉端子に接続して使用します。

電源が入った状態でコントロールパネルの取り付けや取り外しを行うと、正常に操作ができないことがあります。

コントロールパネルの取り付けや取り外しを行うときは、電源スイッチを〈〉にしてください。付属の専用取り付け金具で、カメラ本体後部に取り付けできます。

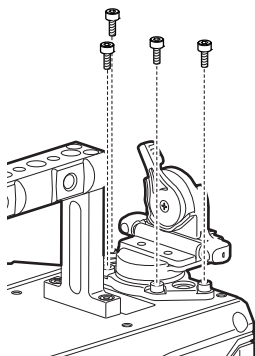


図 1

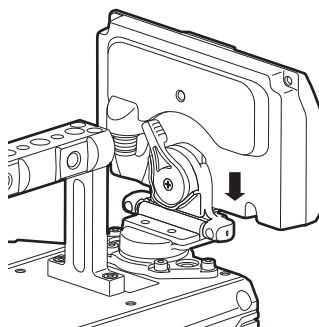


図 2

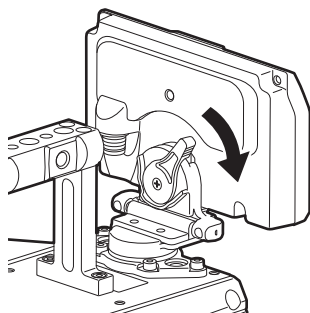


図 3

〈CONTROL PANEL〉端子

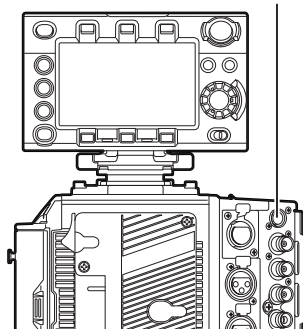


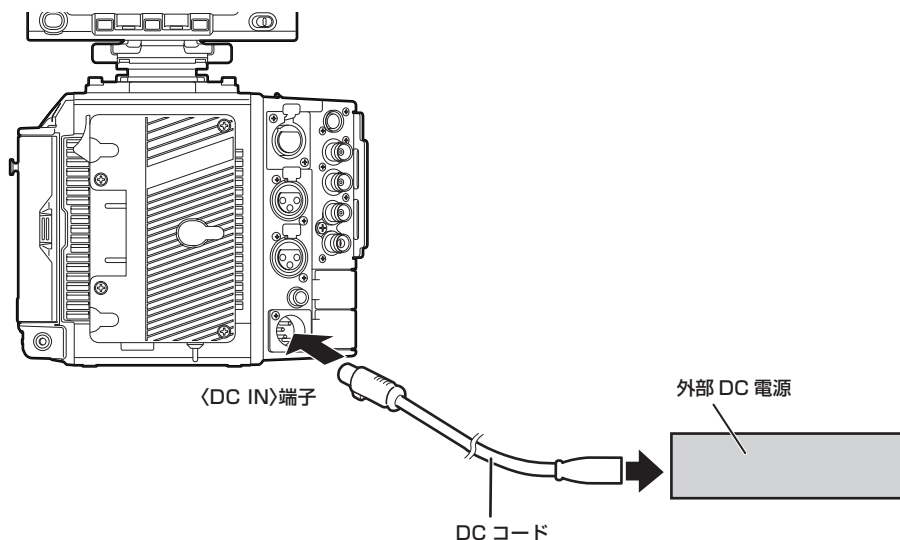
図 4

- 1 コントロールパネル取り付け金具を、付属のねじ（4本）で取り付ける。（図 1）
- 2 コントロールパネル取り付け金具にコントロールパネルを取り付ける。（図 2）
- 3 ロックレバーを右側に倒して、ロックする。（図 3）
- 4 コントロールパネルのケーブルを〈CONTROL PANEL〉端子に接続する。（図 4）



## 電源の供給

### 外部 DC 電源の使用



- 1 本機の〈DC IN〉端子と外部 DC 電源を接続する。
- 2 外部 DC 電源の電源スイッチを入れる（外部 DC 電源に電源スイッチがある場合）。
- 3 本機の電源スイッチを〈I〉にする。

#### ■ 外部 DC 電源について

外部 DC 電源の出力電圧が、本機の定格電圧に適合していることを確認のうえ、接続してください。

外部 DC 電源の出力電流は、接続機器の合計電流以上で、余裕があるものをお選びください。

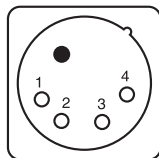
接続機器の合計電流は、次の式で求めることができます。

総消費電力 ÷ 電圧

本機の電源が入ったときには、突入電流が発生します。電源が入ったときに電源供給能力が不足すると、故障の原因となります。本機および本機の電源が入ったときと連動して電源が入る接続機器（レンズなど）の、総消費電力の 2 倍以上の電力を確保できる、外部 DC 電源のご使用をお勧めします。DC コードは AWG16（公称断面積 1.309 mm<sup>2</sup>）以上の芯線の 2 芯シールドコードをご使用ください。

- 外部 DC 電源の DC 出力端子と、本機の〈DC IN〉端子のピン配列を確認し、極性を正しく接続してください。誤って GND 端子に +12 V の電源を接続すると、火災や故障の原因となります。

DC IN



1	GND
2	NC
3	NC
4	+12 V

パナソニック品番：K1AA104H0038  
 メーカー品番：HA16RX-4P (SW1) (76) (ヒロセ電機)

**NOTE**

- ・バッテリーと外部 DC 電源の両方を接続した場合、外部 DC 電源からの電源供給が優先されます。外部 DC 電源の使用中は、バッテリーの着脱もできません。
- ・外部 DC 電源を使用するときは、必ず外部 DC 電源の電源スイッチを入れた後、本機の電源スイッチを〈〉にしてください。逆の操作を行った場合、外部 DC 電源の出力電圧がゆっくり立ち上がるため、本機が誤動作することがあります。
- ・電源の供給を外部 DC 電源からバッテリーに切り替える場合、〈DC IN〉端子から DC コードをゆっくりと抜いてください。素早く抜くと、本機の動作が一度切れることがあります。
- ・〈DC IN〉端子からの電源供給時は、ライト回路が動作しません。アントンバウアー製バッテリープレートからの電源供給時のみライト回路を使用できます。
- ・〈DC IN〉端子にバッテリーを接続する場合は、[MENU] → [SYSTEM SETTINGS] → [POWER MANAGEMENT] → [DC IN SOURCE] で [BATTERY] に設定し、特性に合わせて [- FULL VOLT]、[- NEAR END VOLT]、[- END VOLT] を設定してください。ただし、この場合、残量表示機能があるバッテリーを使用しても % (パーセント) 表示はできません。

# 本機搭載ファームウェアのアップデート

## ファームウェアのバージョンアップ方法

バージョンアップには SD メモリーカードが必要です。

SD メモリーカードは、本機または P2 Viewer Plus でフォーマットしてください。

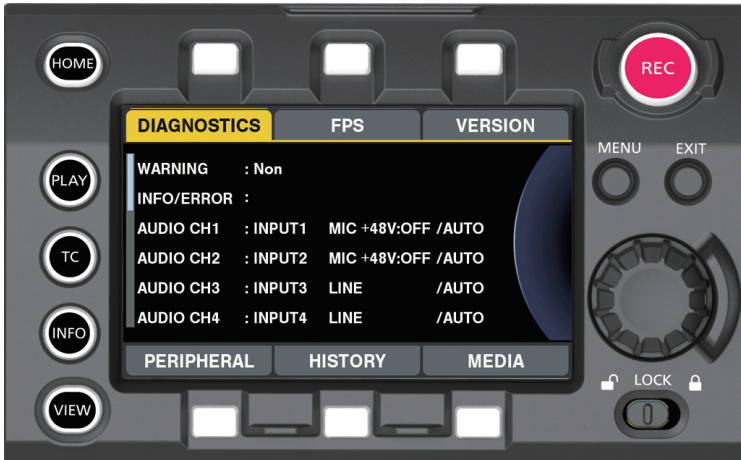


図 1

- 1 Web サイトより、ファームウェアをダウンロードする。  
<http://panasonic.biz/sav/>
- 2 ダウンロードしたファームウェアを、SD メモリーカードに保存する。
- 3 ファームウェアを入れた SD メモリーカードを、サブスロットに挿入する。
- 4 電源を入れる。
- 5 〈INFO〉 ボタンを押し、INFO 画面を表示する。(図 1)
- 6 [VERSION] を選択する。
- 7 ジョグダイヤルボタンを押し。
- 8 [UPDATE] が表示されたら、[UPDATE] → [OK] を選択する。  
 ファームウェアのアップデートが開始されます。終了するまで、電源は切らないでください。

### NOTE

- ・アップデートに要する時間は約 30 分です。アップデート中は途切れることなく電源の供給が必要です。バッテリーではなく外部 DC 電源をご使用ください。
- ・アップデート中 (カードアクセス LED 点滅中) は SD メモリーカードを抜かないでください。本体との通信が遮断され、故障のおそれがあります。
- ・カードスロットカバーが開いていてもアップデートできます。
- ・[REC IMPOSSIBLE] のエラー表示が出ていても、SD メモリーカード内の指定フォルダーにファームウェアが保存されているときは、アップデートできます。

- [MENU] → [SYSTEM SETTINGS] → [INFORMATION] → [UPDATE] からでもアップデートできます。

## 保管について

---

### 保管上のお願い

保管時は、バッテリーを外してください。湿気が少なく、比較的温度が一定な場所にそれぞれ保管してください。

#### ■ 本体

- ほこりが入らないように、柔らかい布で包んでください。

#### ■ バッテリー

- 極端に低温または高温になるところでは、バッテリーの寿命が短くなります。
- 油煙やほこりの多いところに保管すると、端子がさびるなどして故障の原因になることがあります。
- バッテリーの端子に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させないでください。端子間がショートして発熱することがあります。この状態で触れると大やけどをするおそれがあります。
- バッテリーは放電した状態で保管してください。長期間保管する場合、1年に1回は充電し、カメラ本体で充電容量を使い切ってから再保管することをお勧めします。

#### ■ P2 カード

- 本機から取り出したときは、必ず専用キャップを取り付けて、砂やほこりがコネクタ一部に付着しないようにしてください。また、保管時や携帯時は、専用ケースに入れてください。
- 腐食性のガスなどが発生するところには置かないでください。

#### ■ SD メモリーカード

- 本機から取り出したときは、必ずケースに収納してください。
- 腐食性のガスなどが発生するところには置かないでください。
- 車の中や直射日光が当たるところなど温度が高くなるところには置かないでください。
- 湿気の高いところやほこりが多いところには置かないでください。

## 保証とアフターサービス（よくお読みください）

故障・修理・お取扱い・メンテナンスなどのご相談は、  
まず、**お買い上げの販売店**へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社（裏表紙）までご連絡ください。

\* 内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますので、ご了承ください。

### ■ 保証書（本書に付属）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめのうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。

内容をよくお読みいただいたうえ、大切に保管してください。

万一、保証期間内に故障が生じた場合には、保証書記載内容に基づき、無料修理させていただきます。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

### ■ 補修用性能部品の保有期間 **8 年**

当社は、本製品の補修用性能部品を、製造打ち切り後、8 年保有しています。

\* 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

### ■ 保守・点検

● 保守・点検は機器の機能を常に良好な状態に維持し、お客様が安心してご使用していただくためのものです。

● 部品の劣化、ごみ、ほこりの付着などにより突発的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能の維持のために、定期的な保守・点検を行ってください。

● 保守・点検（有料）についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。

● 修理、保守、点検時には、情報漏えいしては困る本体設定情報はあらかじめ削除し、P2 カードや SD メモリーカードを外して、ご依頼ください。

## 修理を依頼されるとき

本書を再度ご確認ください。お買い上げの販売店までご連絡ください。

### ■ 保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。詳しくは、保証書を参照してください。

### ■ 保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

#### ご連絡いただきたい内容

品名	メモリーカードカメラレコーダー
品番	AU-V35LT1G
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

## 定格

定格の詳細内容については、当社 Web サイト (<http://panasonic.biz/sav/manual/index.html>) に掲載されている取扱いガイド (HTML) を参照してください。

### 総合

電源
DC $\equiv$ 12 V (11.0 V - 17.0 V)
消費電力
47 W (本体のみ)
77 W (全てのアクセサリを接続し、各出力端子の最大供給時の最大電力)

は安全項目です。

動作周囲温度	0 °C ~ 40 °C
動作周囲湿度	10% ~ 85% (結露なし)
保存温度	-20 °C ~ 60 °C
質量	約 2.7 kg (ハンドルおよび付属品を除く) 約 3.0 kg (ハンドルを含む、付属品を除く)
外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行)	184.0 mm × 230.5 mm × 247.0 mm (突起部分および付属品を除く)

- 〈DC OUT〉端子、〈LENS/GRIP〉端子、〈DC OUT/RS〉端子、〈USB HOST〉端子の各端子から取り出す電力の合計が、30 W を超えないようにしてください。

## 〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
2. 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店にお申しつけください。
3. この商品は出張修理させていただきますので、修理に際し、本書をご提示ください。
4. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
  - (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
  - (ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下等による故障及び損傷
  - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷
  - (ニ) 他の接続機器及び接続部材に起因して生じた故障及び損傷
  - (ホ) 一般使用環境以外（例えば、強震、高温などの場所）に使用された場合の故障及び損傷
  - (ヘ) 取扱説明書に指定する摩耗性の部品、あるいは付属品の故障及び損傷
  - (ト) 本書のご提示がない場合
  - (チ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
  - (リ) 離島または離島に準ずる遠隔地へ出張修理を行なう場合の出張に要する実費

5. 故障、その他により正常に記録ができなかった場合のデータ補修・記録内容の補償、及び営業上の機会損失等の損害に対する補償は致しかねます。また本機を修理した場合においても同様です。
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。
7. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

### 修理メモ

製造番号をご記入ください。

- ※ お客様にご記入いただいた個人情報（保証書控）は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
- ※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については、取扱説明書をご覧ください。
- ※ This warranty is valid only in Japan.

## メモリーカードカメラレコーダー保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には〈無料修理規定〉の記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。ご記入いただきました個人情報の利用目的は〈無料修理規定〉に記載しております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店にご連絡ください。詳細は〈無料修理規定〉をご参照ください。

品番	AU-V35LT1G		
保証期間	お買い上げ日から 本体 1年間		
* お買い上げ日	年	月	日
* お客様	ご住所 _____		
	お名前 _____ 様		
	電話 ( ) -		
* 販売店	住所・販売店名 _____		
	電話 ( ) -		

ご販売店様へ ※印欄は必ず記入してお渡しく下さい。

パナソニック株式会社 AVCネットワークス社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 TEL (06) 6901-1161

## ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



これらのシンボルマークはEU域内でのみ有効です。製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。



パナソニック株式会社 AVCネットワークス社

〒 571-8503 大阪府門真市松葉町 2 番 15 号 ☎ (06) 6901-1161